

～野外活動～

ビーチクリーンアップ

福岡市海の中道青少年海の家
2024年12月1日改訂



1.活動概要

北海岸にある漂着物を拾い集めて観察するとともに海岸を清掃する。

2.めあて

【自然に学ぶ】

○(本物に触れる)

・ゴミを拾う活動を通して、海の環境に興味・関心を持つとともに、SDGsの意識を高める。

【自分を高める】

○(感性・創造力)

・人間によって出されたゴミが、生態系に及ぼす影響について学ぶ。

3.準備

【1】準備物

海の家 : ゴミ分別カード

団体 : 救急用品、帽子(あごひも付きが望ましい)、水筒、タオル、軍手、ポリ袋
大型のゴミ袋(透明または半透明なもの)

【2】引率者の役割

○ 北海岸での安全管理

○ ゴミ拾い・ゴミの分別のサポート

【3】班編成

6～8人程度

4.実施上の留意点

○ 北海岸入口は施錠しているため、引率者が施設職員の許可を得て入場する。

※北海岸入場可能時間(9:00～17:00)

○ 北海岸の海は、立入及び遊泳禁止のため、引率者が責任をもって研修生の安全管理をする。

※北海岸での諸注意

① 海に入らない。

② 裸足にならない(サンダル不可)。

③ 危険な漂着物や生き物には触らない(液体の入った容器・注射針・ヒョウモンダコなど)。

④ 砂を投げたり、蹴ったりしない。

○ 特に夏季は、北海岸での熱中症に注意する。

○ 怪我をしないように、軍手を必ず着用する。

○ どのようにゴミを拾うか決めておくとスムーズに活動ができる。

例)・班ごとに1つの袋を集めた後、分別させる

・分別しながらゴミを拾わせる など

○ 楽しみながらゴミを拾えるよう、工夫をしても良い。

例)・クラス、班対抗ゴミ拾い大会 など


※その際の内容やルールは、学校・団体に考えること

○ ゴミは、分別項目に従って分別する。※別紙「ゴミ分別カード」参照

○ 北海岸での活動終了後は、衣服や靴についた砂をよく落とし、館内に持ち込まないようにする。

5.活動のながれ

◎…引率者の動き ○…研修生の動き ▼…施設職員の動き

目安時間	活動内容	留意点
全体説明 (20分)	▼活動の説明と北海岸での諸注意をする。 ○話を聞く。	※どのように拾わせるか決めておく。 例)・班ごとに1つの袋に集めた後、分別させる ・分別しながらゴミを拾わせる など ※清掃範囲・集合時刻・集合場所を決めておく。
活動 (60分)	▼北海岸へ引率し、見守りをする。 ○北海岸へ移動する。 ◎清掃範囲・集合時刻・集合場所を伝える。 ◎ゴミ袋を配付する。 ○話を聞き、ゴミを拾う。 ◎北海岸で安全管理を行う。 ▼砂落としについて説明する。 ○砂落としをする。	●絶対に海に入らないように注意する。 ●危険な漂着物や生き物には触らせない (液体の入った容器・注射針・ヒョウモンダコなど)。 ●砂を投げたり、蹴ったりさせない。 ●北海岸入口の芝生の上で、衣服や靴についた砂を落とさせる。
分別 (30分)	▼分別について説明する。 ○拾ったゴミを分別する。  	※「ゴミ分別カード」参照。  
まとめ (10分)	◎まとめを行う。 ○話を聞く。	

- a. 対象学年 : 小学生以上 ※未就学児は要相談
 b. 定員 : なし
 c. 関連教科 : 特別活動、理科、社会科、総合的な学習の時間
 d. 実施可能時期 : 通年
 e. 実施可能な天候 : 荒天時以外
 f. 所要時間 : 2時間程度 ※調整可能
 g. 実施場所 : 北海岸

